

特別展

民藝誕生100年

京都が紡いだ日常の美

2025 9.13 (土) — 12.7 (日)

京都市京セラ美術館 | 本館

Kyoto City KYOCERA Museum of Art | 南回廊1階

開館時間: 10:00 ~ 18:00 (最終入場は17:30) | 休館日: 月曜日 (祝日の場合は開館)

主催: 京都市、NHK京都放送局、NHKエンタープライズ近畿、毎日新聞社、京都新聞

制作協力: NHKプロモーション | 協賛: 京都薬品工業株式会社、一保堂茶舗



「民藝」という言葉が誕生するきっかけとなった木喰仏を皮切りに、上加茂民藝協団で活動した黒田辰秋、青田五良の作品や、「民藝館」「三國荘」のために制作された河井寛次郎、濱田庄司、バーナード・リーチらの工芸作品、柳宗悦らによる日本全国の蒐集品や、芹沢銈介、棟方志功などの民藝関連作家の優品を展示します。また英文学者の寿岳文章、京菓子の鍵善良房、牛肉水炊きの祇園十二段家、民藝の建築を推し進めた上田恒次など京都における民藝運動の推進者や支援者をめぐる作品や資料などとあわせ、京都と民藝との関わりを総合的に紹介します。

Starting with the Mokujiiki's wood-carved Buddhist figures that led to the birth of the term "mingei," the exhibition features works by Kuroda Tatsuaki and Aota Goro, who were active in the Kamigamo Mingei Association; craft works made for the "Folk Crafts Museum" and the "Mikuni Manor" by Kawai Kanjiro, Hamada Shoji, and Bernard Leach; items collected by Yanagi Soetsu and others from across Japan, and outstanding works by artists associated with Mingei such as Serizawa Keisuke and Munakata Shiko. Additionally, the exhibition showcases works and materials related to key figures who promoted and supported the Mingei movement in Kyoto, including English scholar Jugaku Bunsho, Kyoto confectioner Kagizen Yoshifusa, beef hot pot restaurant Junidan-ya in Gion, and Ueda Tsuneji who advanced Mingei architecture, providing a comprehensive overview of the relationship between Kyoto and Mingei.

京都と民藝の深い関わり The Deep Connection between Kyoto and Mingei

1923年関東大震災で被災し、翌年に京都へ転居、約10年にわたって居住した柳宗悦。「民藝」という言葉はこの京都で柳らの交遊によって生まれ、彼らは京都の朝市などで雑器の蒐集を本格的に開始します。「民藝」の歩みは、明治末から大正、昭和へと社会が近代化する中で、人々の衣食住の概念を変革させていくものであり、その活動は京都から日本そして世界へと広がっていきます。

Yanagi Soetsu, who was affected by the 1923 Great Kanto Earthquake and relocated to Kyoto the following year, lived in the city for nearly a decade. It was in Kyoto, through his friendships with others, that the term "mingei" was born, at a time when Yanagi and his colleagues began seriously collecting assorted utensils from places such as Kyoto's morning markets. The journey of Mingei, which began in the late Meiji era and continued through the Taisho and Showa periods with the modernization of Japanese society, transformed the concepts of food, clothing, and shelter in people's daily lives, turning into a movement that spread from Kyoto to the rest of Japan and the world.

序章 「民藝」という言葉の誕生 ～木喰仏の発見 Prologue: The Birth of the Word "Mingei"—The Discovery of Mokujiiki's Buddhist Statues



木喰上人《地藏菩薩像》1801年 日本民藝館蔵
Mokujiiki Shonin, Jizo Bosatsu Statue, 1801, The Japan Folk Crafts Museum

第1章 上加茂民藝協団 ～新作民藝の制作集団 Chapter 1: The Kamigamo Mingei Kyodan (Kamigamo Folk Craft Cooperate) — Collective Creating New Mingei from Tradition



黒田辰秋《拭漆櫛真鍮金具三段棚》1927年 河井寛次郎記念館蔵
Kuroda Tatsuaki, Three-tier Shelf with Japanese Zelkova and Metal Fittings, 1927, Kawai Kanjiro's House

第2章 三國荘 ～最初の「民藝館」 Chapter 2: Mikuni-so: The Origin of the Folk Crafts Museum (Mingeikan)



《馬ノ目皿》19世紀 アサヒグループ大山崎山荘美術館蔵
Horse-eye Plate, 19th Century, Asahi Group Oyamazaki Villa Museum of Art

第3章 式場隆三郎 (1898～1965) と自邸 Chapter 4: Shikiba Ryuzaburo (1898～1965) and His House



式場邸 一階応接間 撮影：川島智生
1st Floor Drawing Room of Shikiba's house, photographed by Kawashima Tomoo

第4章 日本全国の蒐集品 Chapter 3: Collected Works from All over Japan



《水色地芒雁紋様紅型衣裳》19世紀 日本民藝館蔵
Light Blue Kimono with Wild Geese and Japanese Pampas Grass, bingata stencil-dyed, 19th Century, The Japan Folk Crafts Museum



《鍛釜》18世紀 日本民藝館蔵
Kettle with Hailstone Pattern, 18th Century, The Japan Folk Crafts Museum

第5章 民藝と「個人作家」 Chapter 5: Mingei and Individual Artists



河井寛次郎《白地草花絵扁壺》1939年、京都国立近代美術館蔵
Kawai Kanjiro, Flat-sided Jar with Flowers and Grasses on White Ground 1939, The National Museum of Modern Art, Kyoto



バーナード・リーチ《生命の樹》1928年、京都国立近代美術館蔵
Bernard Leach, Tree of Life, 1928, The National Museum of Modern Art, Kyoto

第6章 民藝と京都 Chapter 6: Mingei and Kyoto



黒田辰秋《螺鈿くずきり用器／岡持ち》1932年、鍵善良房蔵
Kuroda Tatsuaki, Food Container with Mother-of-Pearl Inlay, 1932, Kagizen Yoshifusa



松乃饒寮(旧松乃茶寮)一階応接室、写真提供：松乃饒寮
1st Floor Drawing Room of Matsuno Manryo, photo provided by Matsuno Manryo

関連イベント

ギャラリーツアー、講演会など、本展をさらに深く楽しんでいただくために様々な関連イベントを開催します。最新情報は公式X、ウェブサイトでご確認ください。

チケット

観覧料 Admission	当日 Same-day	前売・団体 Advance/Group	ペアチケット Pair ticket
一般 Adult	¥2,000-	¥1,800-	¥3,400- (前売のみ)
大学・高校生 High school and University student	¥1,500-	¥1,300-	-
中学生以下 Junior high students and younger	無料 Free		

※障がい者手帳等をご提示の方は本人及び介護者1名無料

※学生料金でご入場の方は学生証をご提示ください

※団体料金は20名以上

◎前売券

[販売期間] 2025年7月1日(火) 10:00 ~ 9月12日(金) 23:59

[取扱い] 美術館公式オンラインチケット、e-tixほか各種プレイガイドほか
詳細はウェブサイトでご確認ください。

◎前売ペアチケット

2名でご来場の方や、お一人で2回ご来場される方におすすめのセット券。
前売券を2枚購入するよりも200円お得です。

グッズ

展覧会特設ショップでは、公式図録やオリジナルグッズ、各地の民藝品を取りそろえています。人気染色家・石北有美さんとのコラボグッズも登場！ トートバッグやのれんなど、本展のために制作したオリジナルアイテムを販売します。

◎グッズ付きチケット〈先着100枚限定〉

石北有美さんによる本チケット限定デザインの手ぬぐいと、本展観覧券1枚がセットになったお得なチケットです。

[サイズ] 約36×90cm

[素材] 綿100%

[価格] 4,400円(税込)

[販売期間] 2025年7月1日(火)10:00 ~ 9月12日(金)23:59 ※なくなり次第終了

[引換場所] ご来場当日、展覧会特設ショップにてお引き換えください。

※取扱い・詳細は展覧会公式ウェブサイトでご確認ください



※画像はイメージです

京都市京セラ美術館

Kyoto City KYOCERA Museum of Art

TEL. 075-771-4334

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町124

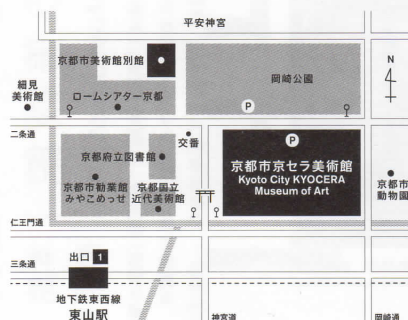
124 Okazaki Enshoji-cho, Sakyo-ku, Kyoto 606-8344 Japan



展覧会公式サイト



@mingei_kyoto



交通案内: ◎[電車] 地下鉄東西線「東山駅」から徒歩約8分 / 京阪電車「三条駅」から徒歩約16分 ◎[市バス] 「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ / 「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
Directions: ◎By subway: Keihan Railway: 8 minutes walk from Higashiyama Station of Kyoto city subway Tozai Line. / 16 minutes walk from Sanjo Station of Keihan Railway. ◎By bus: 1 minute walk from Okazaki Koen / Bijutsukan, Heian Jingu-mae. / 1 minute walk from Okazaki Koen / ROHM Theatre Kyoto, Miyakomessse-mae.

The 100th Anniversary of

MINGEI

: Kyoto's Legacy of Everyday Life



2025 9.13 (土) — 12.7 (日)

特別展 民藝誕生100年 京都が紡いだ日常の美

京都市京セラ美術館
Kyoto City KYOCERA Museum of Art

本館
南回廊1階

10:00 - 18:00 (最終入場は17:30)
休館日: 月曜日 (祝日の場合は開館)

招待券

特別展 民藝誕生1000年
京都が紡いだ日常の美

Special Exhibition The 1000th Anniversary of MINGEI: Kyoto's Legacy of Everyday Life

2025 (令和7) 年 9 月 13 日 (土) ~ 12 月 7 日 (日)

京都市京セラ美術館 本館 南回廊 1 階

【主 催】京都市、NHK 京都放送局、NHK エンタープライズ近畿、毎日新聞社、京都新聞

【制作協力】NHK プロモーション

【協 賛】京都薬品工業株式会社、一保堂茶舗、ギャラリー・セントアイヴス

【凡例】
・会期中に展示替を行います。
前期：9月13日(土)～10月26日(日)
後期：10月28日(火)～12月7日(日)
・会場構成の都合により展示の順番は本リストの順番と異なる場合があります。
・出品作品および展示期間が変更になる場合があります。

掲載作品リスト

1 木喰明満 地藏菩薩像 寛政13年 木 高69.0、幅23.9、奥行19.4 日本民藝館	木 高72.5 河井寛次郎記念館 7 木喰明満 薬師如来坐像 寛政13年 木 高72.0 調布市武者小路実篤記念館	12 木喰明満 十六羅漢 跋駄羅尊者 文化3年 木 高69.5、幅32.0、奥行22.2 清源寺	18 柳宗悦 『宗悦雑考』『工人銘』『器物七則』 昭和元・2年 墨、紙 27.2×19.4 日本民藝館	24 青田五良 裂織布 昭和5年頃 裂織、植物染料 38.2×38.8 (後期)
2 木喰明満 自身像(自刻像) 寛政13年 木 高73.8、幅25.5、奥行20.0 日本民藝館	8 木喰明満 葬頭河婆迦像 寛政12年 木 高53.2、幅32.8、奥行20.5 寿龍院	13 柳宗悦 『木喰上人作木彫佛』(乙種製本) 大正14年 書籍 日本民藝館	19 青田五良 『上加茂織之概念』 昭和10年(初版昭和9年) 書籍 SHIKAMA FINE ARTS	25 柄：黒田辰秋、生地：青田五良 紬日傘 昭和5年頃 紬、植物染料、木 長69.7
3 木喰明満 不動明王像 寛政13年 木 高75.6、幅24.0、奥行17.0 日本民藝館	9 木喰明満 十王坐像 寛政12年 木、10体中1体 高52.5、幅26.0、奥行21.5 寿龍院	14 柳宗悦 『木喰上人作木彫佛』(甲種製本) 大正14年 書籍 日本民藝館	20 青田五良 紬布 昭和2・10年頃 紬、植物染料 171.7×39.5 (後期)	26 伝 青田五良 染帯(流水に鷺模様) 昭和5年頃 絹、植物染料 358.0×30.4 (前期)
4 木喰明満 千手観音像 寛政13年 木 高71.3、幅24.8、奥行19.5 日本民藝館	10 木喰明満 十六羅漢 寶度羅跋羅隨門尊者 文化3年 木 高67.8、幅33.0、奥行15.3 清源寺	15 『日本民藝美術館設立趣意書』 大正15年 書籍 河井寛次郎記念館	21 青田五良 ネクタイ 昭和2・10年頃 紬、植物染料 3.9×131.2 (前期)	27 伝 青田五良 染帯(田舎家に花木模様) 昭和5年頃 絹、植物染料 377.0×31.1 (後期)
5 木喰明満 千手観音像 寛政13年 木 高70.0 一燈園資料館「香倉院」	11 木喰明満 十六羅漢 諾矩羅尊者 文化3年 木 高68.7、幅33.0、奥行18.0 清源寺	16 柳宗悦 『工藝の協園に関する一提案』 昭和2年 書籍 日本民藝館	22 青田五良 紬帯 昭和5年頃 紬、植物染料 368.0×30.5 (後期)	28 青田五良 かきつばた着物 昭和8年頃 絹、蠟染 161.0×124.0 京都国立近代美術館
6 木喰明満 釈迦如来座像 寛政13年		17 柳宗悦 『工藝の道』 昭和3年 書籍 日本民藝館	23 青田五良 紬ショール 昭和5年頃 紬、植物染料 163.4×49.5 (前期)	29 青田七良 煙草ケース 昭和5年頃 銀象嵌、鉄 高5.0、幅9.4、奥行7.7

30 青田七良 マッチケース 昭和5年頃 銀象嵌、鉄 高2.0、幅6.0、奥行3.9 31 黒田辰秋 上加茂民藝協団関連図面 昭和3年 紙本彩色 39.3×27.3他 河井寛次郎記念館（場面替） 32 黒田辰秋 拭漆樺真鍮金具三段棚 昭和2年 木、漆、真鍮 高147.2、幅72.6、奥行47.0 河井寛次郎記念館 33 黒田辰秋 卍文状差 昭和2-4年 木、漆 高80.3、幅14.5、奥行8.0 河井寛次郎記念館 34 黒田辰秋 拭漆樺真鍮金具二段棚 昭和2-4年 木、漆、真鍮 高85.6、幅73.1、奥行38.1 35 黒田辰秋 黒漆鞍掛 昭和2-4年 木、漆 高41.8、幅46.4、奥行46.5 36 黒田辰秋 螺鈿卍文蓋物 昭和2年 木、漆、螺鈿 高12.0、幅16.2、奥行12.5 鍵善良房 37 黒田辰秋 螺鈿梵字箱 昭和4年 木、漆、螺鈿 高10.7、幅10.9、奥行10.9 38 黒田辰秋 朱漆透彫文円卓 昭和3年 木、漆 高26.8、直径96.8 日本民藝館 39 黒田辰秋 根来鉄金具手箱 昭和5年頃 木、漆、鉄 高17.6、幅26.1、奥行21.4 河井寛次郎記念館 40 黒田辰秋	拭漆樺宝結文 蓑入、マッチ入、 拭漆蓑盆 昭和5-14年 木、漆 （蓑入）高7.1、幅11.8、奥行7.0 （マッチ入）高2.5、幅6.0、奥行4.5 （盆）高2.3、幅30.0、奥行16.0 鍵善良房 41 黒田辰秋 朱漆三面鏡 昭和6年 木、漆、金具 高181.0、幅120.2、奥行39.2 日本民藝館 42 『民藝協団作品第1回展覧会目録』 昭和4年 書籍 日本民藝館 43 大阪毎日新聞社京都支局編 『京郊民家譜』 昭和6年 書籍 河井寛次郎記念館 44 大阪毎日新聞社京都支局編 『続京郊民家譜』 昭和9年 書籍 河井寛次郎記念館 45 高林兵衛、柳宗悦 大礼記念国産振興東京博覧会 「民藝館」図面、スケッチ 昭和2-3年頃 ノート 20.7×16.5 46 河井寛次郎 柿釉筒描花文盒子 昭和5年頃 陶器 高10.6、直径12.3 アサヒグループ大山崎山荘美術館 47 河井寛次郎 スリップウェア線文鉢 昭和6年 陶器 高6.0、直径21.0 アサヒグループ大山崎山荘美術館 48 河井寛次郎 青磁釉蓮台形香炉 昭和5年頃 磁器 高6.7、幅10.4、奥行10.4 アサヒグループ大山崎山荘美術館 49 濱田庄司 琉球彫絵色差格子文共手付土瓶 昭和3年頃 陶器 高15、幅17.5、奥行13.5	アサヒグループ大山崎山荘美術館 50 濱田庄司 スリップウェア格子文角鉢 昭和5年頃 陶器 高8.8、幅31.0、奥行28.4 アサヒグループ大山崎山荘美術館 51 青田五良 紬帯地 昭和初期 紬、植物染料 432×37.3 アサヒグループ大山崎山荘美術館 52 青田五良 紬座布団 昭和3年頃 紬、植物染料 高37.5、幅42.0、奥行8.9 アサヒグループ大山崎山荘美術館 53 青田五良 裂織敷物 昭和5年頃 裂織、植物染料 256.0×135.0 アサヒグループ大山崎山荘美術館 54 織部稻浜千鳥図行灯皿 瀬戸 江戸時代 18世紀 陶器 高2.1、直径22.5 アサヒグループ大山崎山荘美術館 55 馬ノ目皿 瀬戸 江戸時代 19世紀 陶器 高5.5、直径26.8 アサヒグループ大山崎山荘美術館 56 白磁染付赤絵牡丹文壺 伊万里 江戸時代 18世紀 陶器 高18.5、直径16.0 アサヒグループ大山崎山荘美術館 57 鉄絵松文甕 肥前 江戸～明治時代 19世紀 陶器 高24.5、直径28.0 アサヒグループ大山崎山荘美術館（後期） 58 牡丹文うちくい 沖縄 昭和5年頃 麻、筒描、藍染 148.5×150.5 アサヒグループ大山崎山荘美術館（前期） 59 富士参詣曼荼羅図 江戸時代 18世紀初頭 紙本着色、軸 33.2×50.1 アサヒグループ大山崎山荘美術館（前期）	60 三國荘 芳名録 昭和4-17年頃 28.0×20.4×2.0 アサヒグループ大山崎山荘美術館 61 岸田劉生 人類の意志（人類の肖像） 大正3年 油彩、キャンバス 78.5×60.5 62 長谷川利行 裸婦・饗宴 大正10年 油彩、キャンバス 56.5×45.0 63 バーナード・リーチ ガレナ大皿（樹） 大正14年 陶器 高さ11.0、直径44.0 64 式場隆三郎 『ファン・ホッフの生涯と精神病』 上下 昭和7年 書籍 65 式場隆三郎 『点字訳 ウアン・ゴッホの生涯と芸術』 上下 昭和29年 書籍 66 『日本民藝品展覧会目録』 昭和4年 書籍 SHIKAMA FINE ARTS 67 緑釉指描文鉢 唐津・武雄 江戸時代 17世紀後半 陶器 高14.9、直径50.5 日本民藝館 68 染付人物文香炉 明時代 17世紀 磁器 高9.1、直径18.4 日本民藝館 69 絵志野葉文平鉢 美濃 桃山～江戸時代 17世紀 陶器 高4.3、直径24.5 日本民藝館 70 白磁壺 朝鮮 朝鮮時代 18世紀前半 磁器 高32.8、直径32.5 日本民藝館 71 焼締黒流茶壺 信楽 江戸時代 19世紀	陶器 高31.7、直径28.3 日本民藝館 72 鉄絵緑彩松文甕 唐津・武雄 江戸時代 17世紀後半 陶器 高31.2、直径32.8 日本民藝館 73 船簞笥 江戸～明治時代 19世紀 木、漆、鉄 高50.5、幅63.0、奥行43.0 河井寛次郎記念館 74 自在鉤 江戸～明治時代 19世紀 木、漆 高58.5、幅49.0、奥行30.5 河井寛次郎記念館 75 めはじき塗独楽盆 江戸時代 19世紀 木、漆 高4.2、直径37.3 日本民藝館 76 漆絵割菊文片口 江戸時代 18世紀 木、漆 高16.2、幅30.0、奥行24.1 日本民藝館 77 編籠 江戸時代 19世紀 樺皮 高34.0、幅29.4、奥行6.6 日本民藝館 78 霰釜 江戸時代 18世紀 鉄、鋳造 高21.5、直径27.2 日本民藝館 79 羽広鉄瓶 山形県（羽前山形） 昭和9年頃 砲金 高28.2、幅22.3、奥行22.1 日本民藝館 80 燭台 江戸時代 19世紀 真鍮 高27.6、幅16.1、奥行15.2 日本民藝館 81 大津絵 太夫 江戸時代 17世紀後半～18世紀前半 紙本着色、軸 47.9×22.0 日本民藝館（前期） 82 大津絵 鬼の三味線 江戸時代 17世紀後半～18世紀
---	---	--	---	--

前半 紙本着色、軸 62.1×22.0 日本民藝館	(後期)	93 焦茶地兜文字入革羽織 江戸時代 19世紀 鹿革、型燻染 115.8×135.3 日本民藝館	(前期)	瑠璃釉兎文角香合 昭和10年 磁器 高3.3、幅5.6、奥行5.6 日本民藝館	113 濱田庄司 赤絵丸文角瓶 昭和13年 陶器 高28.6、幅12.2、奥行12.2 日本民藝館	106.0×34.0 (各扇) 日本民藝館	(前期)
83 蓑 山形県 昭和12年 蒲、麻、科皮 105.0×57.0 日本民藝館	(前期)	94 白地分銅角輪轆ぎ模様革羽織 江戸時代 19世紀 鹿革、型燻染 111.0×134.2 日本民藝館	(後期)	104 富本憲吉 染付葦文角筥 昭和9年 磁器 高8.8、幅12.4、奥行12.5 日本民藝館	114 濱田庄司 鉄砂抜絵瓶 昭和5年頃 陶器 高35.6、直径20.9 日本民藝館	123 芹沢銈介 沖繩絵図 昭和14年 絹、型染 133.5×109.8 日本民藝館	(後期)
84 蓑 宮城県 昭和5-15年 菅、木綿 140.0×70.0 日本民藝館	(後期)	95 東ごさん衣裳 津軽 明治時代 19世紀 大麻、木綿、こざん刺し 140.0×123.0 日本民藝館	(前期)	105 富本憲吉 色絵福貴文字文角筥 昭和11年 磁器 高6.3、幅9.2、奥行6.0 日本民藝館	115 濱田庄司 掛分指描大鉢 昭和18年 陶器 高16.2、直径52.8 大阪市立東洋陶磁美術館 (堀尾 幹雄コレクション)	124 芹沢銈介 日本民藝地図 (現在之日本民藝) 昭和16年 紙本着色、六曲一双・四曲一隻 170.0×1332.0 日本民藝館	
85 筒描团扇文様裂 江戸～明治時代 19世紀 木綿、筒描、軸 77.1×56.8 日本民藝館	(前期)	96 東ごさん身頃 津軽 明治時代 19世紀 麻、木綿、こざん刺し 52.0×45.0 日本民藝館	(後期)	106 富本憲吉 色絵節簀 昭和16年 磁器 高8.7、幅33.0、奥行29.0 京都国立近代美術館	116 バーナード・リーチ 染付彫絵輕井沢掘割図皿 大正9年 陶器 高3.1、直径21.1 日本民藝館	125 芹沢銈介 法然上人御影 昭和25年頃 紙本、型染、軸 117.0×50.3 京都国立近代美術館	(後期)
86 色入牡丹唐獅子文様夜具地 江戸時代 19世紀 木綿、筒描、軸 141.7×138.0 日本民藝館	(後期)	97 水色地芒雁紋様紅型衣裳 沖繩 琉球王国時代 19世紀 木綿、型染 137.0×114.0 日本民藝館	(後期)	107 河井寛次郎 鉛釉象嵌抽象文鉢 昭和12年頃 陶器 高7.0、直径20.6 日本民藝館	117 バーナード・リーチ 染付彫絵樹下婦人図皿 大正9年 陶器 高3.1、直径21.3 日本民藝館	126 芹沢銈介 型染紙漉村文着物 昭和43年 絹、型染 141.0×134.0 京都国立近代美術館	(前期)
87 菊大紋胴小紋裾波に兎文様被衣 庄内 江戸時代 19世紀 苧麻、筒描、型染 141.0×115.0 日本民藝館	(後期)	98 白地露枝垂桜牡丹文様紅型衣裳 沖繩 琉球王国時代 19世紀 木綿、型染 130.0×125.0 日本民藝館	(前期)	108 河井寛次郎 海鼠袖陶硯 昭和10-11年頃 陶器 高4.9、幅16.0、奥行10.8 河井寛次郎記念館	118 バーナード・リーチ 楽焼大皿「兎」 大正9年 陶器 高6.5、直径35.5 京都国立近代美術館	127 芹沢銈介 型染鯛文着物 昭和43年 ちりめん、型染 154.0×67.0 京都国立近代美術館	(後期)
88 菊大紋胴小紋裾花文様被衣 庄内 江戸時代 19世紀 苧麻、筒描、型染 136.0×128.0 日本民藝館	(前期)	99 オヒョウ地切伏刺繍衣裳 北海道アイヌ 19世紀 オヒョウ、木綿、切伏 118.0×130.0 日本民藝館	(前期)	109 河井寛次郎 鉄辰砂草花図壺 昭和10年 陶器 高30.5、幅28.5、奥行28.5 京都国立近代美術館	119 バーナード・リーチ 生命の樹 昭和3年 陶器 67.4×67.4 京都国立近代美術館	128 芹沢銈介 型染壺屋風物文着物 昭和43年 木綿、型染 148.0×62.0 京都国立近代美術館	(前期)
89 熨斗文様夜着 明治時代 19世紀 木綿、筒描 197.0×150.0 日本民藝館	(前期)	100 藍木綿地切伏刺繍衣裳 北海道アイヌ 19世紀 木綿、切伏 132.5×121.0 日本民藝館	(後期)	110 河井寛次郎 白地草花絵扁壺 昭和14年 陶器 高33.0、幅30.0、奥行22.0 京都国立近代美術館	120 バーナード・リーチ 白掛彫絵熊文皿 昭和10年 陶器 高10.1、直径49.3 日本民藝館	129 芹沢銈介 型染笠うちわ文着物 昭和43年 芭蕉布、型染 135.0×67.0 京都国立近代美術館	(後期)
90 檜扇橘文様夜着 明治時代 19世紀 木綿、筒描 160.0×155.0 日本民藝館	(後期)	101 富本憲吉 銀欄手大飾壺 昭和4年 磁器 高25.0、直径25.0 京都国立近代美術館		111 河井寛次郎 鉄葉丸紋隅切鉢 昭和14年 陶器 高8.5、幅32.5、奥行32.5 京都国立近代美術館	121 芹沢銈介 益子図 昭和10年 木綿、型染、軸 81.6×36.2 京都国立近代美術館	130 棟方志功 板画「大和し美し」 昭和11年 木版、紙、巻子 24.2×721.0 京都市芸資料館	(場面替)
91 色入貝桶文様夜具地 江戸時代 19世紀 木綿、筒描、軸 140.7×125.3 日本民藝館	(前期)	102 富本憲吉 白磁八角壺 昭和7年 磁器 高21.1、幅27.0、奥行27.0 奈良県立美術館		112 濱田庄司 スリップウェア線文鉢 昭和5年頃 陶器 高7.7、幅35.0、奥行35.2 アサヒグループ大山崎山荘美術館	122 芹沢銈介 丸文伊呂波屏風 昭和13年 紬、型染、八曲一隻	131 棟方志功 板画欄 二菩薩釈迦十大弟子 昭和14年 木版、紙、軸、全12幅 各101.5×38.0 一燈園資料館「香倉院」 (6面ずつ入替)	
92 宝袋に三蓋松文様夜具地軸 江戸～明治時代 19世紀 木綿、筒描、軸 155.8×144.6 日本民藝館	(後期)	103 富本憲吉					

132 棟方志功 板画「鐘溪頌」 昭和20年 木版、彩色、紙、六曲一双、全24冊 各51.5×37.5 雪梁舎美術館寄託	向日庵	高59.5、幅36.5、奥行13.0 河井寛次郎記念館	田恒次家住宅) 昭和11年 墨、紙、帖 19.2×14.0	高さ8.0、直径37.0 十二段家
133 黒田辰秋 拭漆摺真鍮金具印笥筒 昭和12年 木、漆、真鍮 高25.5、幅30.8、奥行24.3 河井寛次郎記念館	142 寿岳文章著 『書物』(向日庵私版) 昭和11年 書籍 多可町立和紙博物館「寿岳文庫」	152 デザイン：河井寛次郎 文机 昭和13年 木 高33.5、幅100.0、奥行35.5 河井寛次郎記念館	162 上田恒次 覚書(旧上田恒次家住宅) 昭和10-20年 墨、紙、帖 24.0×17.0	172 上田恒次 青山十二段家 円卓 図面 昭和50年頃 鉛筆、紙 57.5×84.5
134 黒田辰秋 螺鈿象嵌菖蒲紋様手筈 昭和13年 木、漆、螺鈿 高18.0、幅28.0、奥行14.4 京都国立近代美術館	143 芹沢銈介著 『絵本どんきほうて』(向日庵私版) 昭和11年 書籍 多可町立和紙博物館「寿岳文庫」	153 河井寛次郎 文具一式(1. スタンドライト、2. 視屏、3. 硯、4. 筆筒、5. 水滴) 河井寛次郎記念館	163 上田恒次 辰砂角皿 昭和45年頃 磁器 高7.5、幅45.3、奥行44.7	173 河井寛次郎詞、棟方志功板、石崎俊彦摺、西垣光温・西村大治郎編 『火の願ひ』(西村書店発行) 昭和22年 書籍 河井寛次郎記念館
135 黒田辰秋 屋久杉棚 昭和55年 木、銀 高71.9、幅91.0、奥行33.4 京都市美術館	144 『工藝』第28号 昭和8年 雑誌 向日庵	154 河井寛次郎 狛犬脇息 昭和18年 木 高33.5、幅35.0、奥行17.0 河井寛次郎記念館	164 上田恒次 赤絵陶箱 昭和25年頃 磁器 高13.9、幅20.0、奥行20.0	174 河井寛次郎詞、棟方志功板、石崎俊彦摺、西垣光温・西村大治郎編 『火の願ひ』 昭和22年 シート(19枚) 28.0×38.3他 SHIKAMA FINE ARTS (場面替)
136 柳宗悦、山宮允、寿岳文章共編 『百年忌記念ブレイク作品文献展覧会出品目録』 昭和2年 書籍 向日庵	145 寿岳文章、寿岳静子著 『紙漉村旅日記』(向日庵私版) 昭和18年 書籍 向日庵	155 河井寛次郎 食器一式(酒器3種、ぐいのみ4種、スリップウェア盛皿、呉須辰砂黄釉瓜型喰籠、小皿3種) 河井寛次郎記念館	165 上田恒次 練上手大皿 昭和45-55年 陶器 高11.5、幅49.0、奥行54.5	
137 寿岳文章編 『中ルヤム・ブレイク書誌』 昭和4年 書籍 多可町立和紙博物館「寿岳文庫」	146 デザイン：河井寛次郎、制作：日本竹製寝台製作所 竹製棚 昭和15年頃 竹 高150.0、幅75.0、奥行43.0 河井寛次郎記念館	156 黒田辰秋 螺鈿くずきり用器、岡持ち 昭和7年 木、漆、螺鈿 (くずきり用器) 高19.0、幅14.0、奥行14.0 (岡持ち) 高25.0、幅17.0、奥行17.0 鍵善良房	166 上田恒次 旧松乃茶寮(松乃饅寮) 広間西側透図 昭和40-41年頃 鉛筆、紙 56.4×84.5	
138 柳宗悦、寿岳文章共著 『ブレイクとホキットマン』第1巻 昭和6年 書籍 多可町立和紙博物館「寿岳文庫」	147 デザイン：河井寛次郎、制作：日本竹製寝台製作所 竹製子供椅子 昭和15年頃 竹 高36.0、幅34.0、奥行40.0 河井寛次郎記念館	157 黒田辰秋 赤漆宝結文飾板 昭和7-10年 木、漆、板、4点組のうち1点 高121.0、幅69.0、奥行3.0 鍵善良房	167 棟方志功 十二段家書房の掛け紙 昭和10年代後半 紙、額 44.5×58.5 十二段家	
139 柳宗悦、寿岳文章共著 『ブレイクとホキットマン』第2巻 昭和7年 書籍 向日庵	148 デザイン：河井寛次郎 小箆筒 昭和13年 木 高38.0、幅41.0、奥行26.0 河井寛次郎記念館	158 黒田辰秋 螺鈿菓子重箱 昭和13年 木、漆、螺鈿 高34.7、幅34.2、奥行22.2 鍵善良房	168 芹沢銈介 十二段家書房の掛け紙 昭和10年代頃 紙 26.9×38.2 京都市芸資料館	
140 ウィリアム・ブレイク著、寿岳文章訳 『無染の歌』(向日庵私版) 昭和8年 書籍	149 河井寛次郎 拓本「暮しが仕事 仕事が暮し」 昭和22年 拓本、額 38.0×49.0 河井寛次郎記念館	159 書：河井寛次郎、額：黒田辰秋 書「くづきり」 昭和31年頃 墨、紙、木 42.0×31.0 鍵善良房	169 棟方志功 東北経鬼門譜(一部) 昭和12年頃 木版、彩色、紙、額 26.5×90.5 十二段家	
141 テオ・ファン・ゴッホ著、式場隆三郎訳 『テオ・ファン・ホッホの手紙』(向日庵私版) 昭和9年 書籍	150 デザイン：河井寛次郎 木製吊り棚 昭和13年 木 高72.5、幅54.0、奥行18.0 河井寛次郎記念館	160 上田恒次 旧上田恒次家住宅(初期案) 図面 昭和8-11年 墨、紙 63.3×87.5	170 棟方志功 妙興の韻 昭和20年代後半 紙本着色、額 44.8×45.2 十二段家	
	151 河井寛次郎 木彫面 昭和34年頃 木	161 上田恒次 昭和拾壹年 木野工事費(旧上	171 上田恒次 色絵大皿 昭和55年頃 磁器	